





《特別支援学校大宮ろう学園の活性化・特色化方針》

<b>種別</b>	聴覚障害	<b>学部・学科</b>	幼・小・中・高・専	<b>R8.5.1 幼児・児童・生徒数</b>	(男) 84 (女) 64	計 148
<b>アクセス</b>	JR 宇都宮線土呂駅西口下車徒歩 7 分 東武アーバンパークライン（東武野田線）大宮公園駅下車徒歩 20 分					
<b>&lt;教育課程等&gt;</b>						
聴覚障害などの障害特性を踏まえた教育を実践している。高等部本科は普通科、産業工芸科、生活デザイン科の 3 コースがあり、専攻科は情報ビジネスコース、技能実習コースを設置している。各段階において支援籍学習、乳幼児教育相談など、関係諸機関や地域との連携を図っている。						
<b>&lt;学校行事・部活動&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒の段階に応じて、運動会、のぼら祭、マラソン大会を実施しています。</li> <li>・部活動は野球部、バレー部、卓球部、陸上部、美術部があり、中高合同で活動しています。</li> <li>・野球部：関東聾学校野球大会で準優勝（令和 3 年度実績）、高野連軟式野球大会優勝（令和 4 年度実績）、卓球部：2 年連続全国聾学校卓球大会女子の部出場</li> </ul>						
<b>&lt;家庭・地域との連携&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開、授業見学会、進路関係者向け学校公開を年間で各 1 回、難聴乳幼児諸機関担当者会を年間 3 回実施しています。</li> <li>・坂戸ろう学園との交流会を年 2 回と、地域の学校と交流及び共同学習を実施しています。</li> <li>・専攻科生は、地域のイベントに参加しています。</li> </ul>						
<b>&lt;進路&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部において、本人、保護者、学校の共通理解を図り、進路決定をサポートしています。</li> </ul> <p>高等部本科    日本体育大学   体育学部   体育学科   大宮ろう学園専攻科   情報ビジネスコース          ぱらだいすかふえどっぽジョブセンター春里どんぐりの家(株)IHI   (株)カインズビジネス          サービス   UDトラックス(株)   (株)SUBARU   (株)松屋フーズ</p> <p>専攻科        藤田観光(株)   キヤノン電子(株)   (株)ヨシダ   SMC(株)   トランス・コスモス(株)          (株)マルイキットセンター</p>						
<b>&lt;本校の特色&gt;</b>						
<p>幼児児童生徒一人一人の発達段階や将来像に合わせた適切な指導及び合理的配慮の実施          部活動を通じて豊かな人格の形成（中学部・高等部）          放課後の補習や課外研究等、自ら進んで学ぶことを通して、自己の能力を最大限発揮できる生徒の育成          （高等部専攻科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害の特性を踏まえ、一人一人の実態に応じた「個別の教育支援計画・個別の指導計画」に基づき、集団による教育実践、個別対応の支援を行います。</li> <li>・卒業後の進路を見据えて、中学部・高等部の進路指導の一環として産業現場等における実習を行います。</li> <li>・学校内では共通コミュニケーション手段として手話を使っており、幼児・児童・生徒にとって分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。</li> </ul>						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>						

本校の特色

- ◇学校教育目標 自分の良さを伸ばし、一人一人が輝く
- ◇本校の教育方針 ①言語教育の充実 ②基礎基本の重視 ③生活指導の充実 ④健康・安全教育の充実 ⑤保護者・関係機関との連携 ⑥ICT環境の整備とICT活用の充実 ⑦教職員の研究・研修の充実
- ◇地域との連携 医療・療育・福祉機関との連携充実と、聴覚障害教育への興味関心を一層高めるための情報発信の充実

